

# 国際環境技術移転センター

## 台湾訪問団と交流会

【四日市】国際環境技術移転センター（ICETT）は26日、三重県四日市桜町の同センター内で、台湾政府経済部工業局が主催する日本循環経済交流訪問団と日本企業との交流会を開催した。当日は日本企業8社、台湾企業10社が参加し、相互交流を深めた。

冒頭、ICETTの陳佩利団長（経済部工業局主任秘書）があいさつに立ち、ICETTは過去に公害被害があつたが産学官が力を合わせて乗り越えてきた経験がある。本日はこの場を通じて台湾の皆さんと交流を深めていきたい」とあいさつ。その後、担当者がICETTの概要について説明した。

引き続き、訪問団の陳佩利団長（経済部工業局主任秘書）があいさつする陳訪問団長（中央）回訪日した企業はそれらの産業を支えるリサイクル企業ばかり。この場が日本の企業と交流を深める機会になることを期待している」と語った。

Tの協力に謝意を示すとともに「循環経済をテーマにした日本への訪問は今回で4回目となりました。ICETTはこれまで半導体産業は輸出の3割を占める中核産業であり、今

交流会では双方が3つのグループに分かれ、企業同士が個別に面談の場を持つた。台湾側からは金属や化学系のリサイクル企業が、日本側からも金属リサイクル関係ではアルケムジャパンなどが参加し、積極的な交流が行われた。



なる。台湾生産力基金の林姿君経理が「台湾における廃棄資源を循環利用する現状及び展望」をテーマに基調講演を行った。

経済部工業局主任秘書の林姿君は、「台湾側からは金属や化学系のリサイクル企業が、日本側からも金属リサイクル関係ではアルケムジャパンなどが参加し、積極的な交流が行われた。